

山行報告書

作成:平成 24 年7月2日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	中央アルプス	目的[方法]	中央アルプス縦走
期間	6月 29、30 日	形態	テント泊
参加人数	3人		

行動記録:

6/29(金) 晴のち曇

千畳敷(0820) -- 0:40—極楽平(0900,0910) --2:40—檜尾岳(1150,1210)--1:40—熊沢岳(1350)—1:10—東川岳(1500)—0:20—木曾殿山荘(15:20)—1:30 空木岳(1650)

6/30(土) 晴

駒峰ヒュッテ(0500)—1:20—南駒ヶ岳(0620)—2:00—(仙涯嶺 0720,0730)—2:00—南駒ヶ岳(0830)—1:45—駒峰ヒュッテ(1015,1045)—5:15 管の台バスセンター

概念図:



日誌:

29 日、願ってもない快晴。ロープウェイで千畳敷に着くと八ヶ岳、南アルプス遠くには富士山、浅間山などを見ることができた。極楽平までの登りは思ったより雪渓が多く、軽アイゼンが必要かと思うくらいであった。尾根に出ると、御嶽山は雲がかかっていたが、天気は良く北アルプスまで臨むことができた。それから軽快な縦走路と行きたいところだが、天気は下り坂で、ペースが思ったほどに上がらず、熊沢岳に到着した時は予定より1時間遅れていた。ここで奥の手(荷物の分配)を使ってところペースを巻き返し、東川岳着いたころにはほぼ予定通りの時間まで持ち返したのだが、天気が下り坂なのと疲労度を考え、「木曾殿山荘でヤミテン…」という話になった。しかし、木曾殿山荘では山小屋の主人が7月 14 日のオープンに向け、せつせと準備中、とてもじゃないけど気まずいということで、已む無く駒峰ヒュッテに向かう。ということで結局この日は予定通りの行程をこなした。

30 日、伊奈谷に雲海が広がる中、ご来光を拝むことができた。出発して空木岳を経て南駒ヶ岳には予定を大きく上回るペースで到着。これなら予定通り仙涯嶺まで行けるということで向かったのだが、ここからの登山道はあまり良くなく往復で4時間以上かかってしまった。ペースが落ちたということは疲労度も上がったということで、駒峰ヒュッテに着いた頃にはかなりバテていた。そこからさらに5時間下り、この日も十分すぎるほどに歩くことができた。

感想:

梅雨の時期の山行ということで天気はあまり期待していなかったが、素晴らしい展望を楽しむことができた。